

平成22年度第2四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書  
平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは(-)、金額はあるが単位未満のものは(0)で表示している。  
◎\*を付した科目について:会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができることから、本規定に基づき予算の流用を行った。  
◎想定進捗率について:年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	254万台	480万台	53%	53%	218万台	37万台	117%
引取時預託(後付預託を除く)	7万台	12万台	54%	50%	7万台	△0万台	98%
合計(A)	261万台	492万台	53%	53%	224万台	36万台	116%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	10万台	21万台	46%	52%	10万台	△1万台	95%
預託台数合計(A)+(B)	270万台	513万台	53%	53%	235万台	36万台	115%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)

	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,700円	6,600円	100円	6,540円	160円
エアバッグ類	2,500円	2,540円	△40円	2,510円	△10円
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,060円	0円
合計	11,260円	11,200円	60円	11,110円	150円

(3) 品目別の装備率

	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	95%	95%	0	95%	0
フロン類	98%	98%	0	97%	1

(4) 金額

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	29,142百万円	54,680百万円	53%	53%	24,734百万円	4,407百万円	118%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	254万台	480万台	53%	53%	218万台	37万台	117%
引取時預託	7万台	12万台	54%	50%	7万台	△0万台	98%
合計	261万台	492万台	53%	53%	224万台	36万台	116%

(2) 金額

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	600百万円	1,132百万円	53%	53%	516百万円	84百万円	116%

預託金預り収入計

金額

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	29,742百万円	55,811百万円	53%	53%	25,251百万円	4,491百万円	118%

②特定資産運用収入—再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	5,552百万円	11,176百万円	50%	49%	5,145百万円	406百万円	108%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の上半期の想定進捗率は環境対応車普及促進事業効果及び前年度までの預託実績を参考に53%としていた。実績も53%となり、予算想定のとおりとなった。  
○引取時預託台数(後付預託を除く)の上半期の想定進捗率は前年度預託実績等を参考に50%としていたが、実績は54%となり、台数実績は予算想定を上回った。  
○各品目の平均単価及び装備率は概ね予算想定のとおり。  
以上のとおり、新車購入時預託台数・単価・装備率が概ね上半期の予算想定のとおりとなったため、再資源化等預託金預り収入の進捗率は上半期の想定進捗率53%のとおりとなった。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	116万台	138万台	—	—	254万台
平成21年度	96万台	122万台	121万台	150万台	489万台

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託  
新車購入時預託台数及びASR平均単価は、前年度同期実績を上回った。  
○引取時預託(後付預託を除く)  
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている。すなわち、引取時預託台数の比率(平成22年度上半期実績 3.1%、平成21年度上半期実績 3.5%)が低下している。しかし、引取業者引取台数が前年度同期実績を上回ったため(平成22年度上半期実績 213万台、平成21年度上半期実績 189万台)、引取時預託台数(後付預託を除く)は概ね前年度同期実績のとおりとなった。  
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を上回った。

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成22年度2Q決算		平成22年度年度予算		平成21年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,720円	5,750円	6,620円	5,860円	6,570円	5,830円
エアバッグ類	2,510円	2,120円	2,550円	2,110円	2,510円	2,080円
フロン類	2,060円	2,110円	2,050円	2,100円	2,060円	2,100円
合計	11,290円	9,980円	11,220円	10,070円	11,140円	10,010円

《品目別預託方法別の装備率》

	平成22年度2Q決算		平成22年度年度予算		平成21年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	32%	97%	30%	97%	28%
フロン類	99%	32%	99%	31%	99%	33%

【予算との比較】

預託台数合計が上半期の予算想定のとおりとなったため、情報管理預託金預り収入の進捗率は上半期の想定進捗率53%のとおりとなった。

【前年度同期実績との比較】

預託台数合計が前年度実績を上回ったことにより、情報管理預託金預り収入は前年度同期実績を上回った。

【予算との比較】

概ね予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより、前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成22年度2Q末残高	平成21年度2Q末残高
8,133億円	7,900億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1) 品目別の払渡台数

	平成22年度2Q				平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	211万台	395万台	53%	53%	181万台	30万台	117%
エアバッグ類	107万台	229万台	47%	52%	80万台	27万台	133%
フロン類	180万台	346万台	52%	55%	151万台	29万台	119%

(2) 品目別の平均単価

	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,190円	6,200円	△10円	6,200円	△10円
エアバッグ類	2,040円	2,030円	10円	2,030円	10円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3) 金額

決算(a)	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
18,989百万円	36,355百万円	52%	53%	15,987百万円	3,001百万円	119%

《引取業者引取台数実績》

平成22年度2Q				平成21年度 2Q決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
213万台	395万台	54%	53%	189万台	23万台	112%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成22年度 2Q決算			平成21年度 2Q決算
	年度予算	上半期 予算想定	上半期 実績	
エアバッグ類	50%	59%	55%	42%
フロン類	83%	87%	86%	82%

【予算との比較】

○引取業者引取台数の上半期の想定進捗率は、前年度実績等を参考に53%としていた。実績は54%となり、概ね予算想定のとおりとなった。  
 ○ASR払渡台数の上半期の想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に53%としていた。実績も53%となり、予算想定のとおりとなった。  
 ○エアバッグ類及びフロン類の払渡台数の上半期の想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考にそれぞれエアバッグ類52%、フロン類55%としていたが、引取業者引取台数における装備率が上半期予算想定(エアバッグ類55%、フロン類86%)を下回ったことにより、上半期実績はエアバッグ類47%、フロン類52%となり、エアバッグ類及びフロン類の払渡台数は予算想定を下回った。  
 ○各品目の平均単価は概ね予算想定のとおりとなった。  
 以上を要因として、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は52%となり、概ね上半期の想定進捗率53%のとおりとなった。

【前年度同期実績との比較】

各品目の払渡台数が前年度同期実績を上回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

情報管理預託金払渡支出

(1) 台数

決算(a)	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
221万台	395万台	56%	53%	189万台	32万台	117%

(2) 金額

決算(a)	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
390百万円	706百万円	55%	53%	299百万円	92百万円	131%

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台あたり単価	平成22年度2Q				平成21年度2Q	
	決算		年度予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	119万台	54%	203万台	51%	137万台	72%
230円	102万台	46%	192万台	49%	53万台	28%
合計	221万台	100%	395万台	100%	189万台	100%

【予算との比較】

○情報管理料金払渡台数の上半期の想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に53%としていたが、実績は56%となり予算想定を上回った。  
 ○単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。  
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は、上半期の想定進捗率53%を上回る55%となった。

【前年度同期実績との比較】

○払渡台数は前年度同期実績を上回った。  
 ○単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を上回った。  
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

決算(a)	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
898百万円	1,703百万円	53%	53%	549百万円	349百万円	164%

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成21年度よりも高く、また、利息を付す払渡台数が前年度同期実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※) 利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

決算(a)	平成22年度2Q			平成21年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
20,277百万円	38,764百万円	52%	53%	16,835百万円	3,442百万円	120%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
45万台	80万台	56%	50%	39万台	6万台	115%

(2)平均単価

平成22年度2Q			平成21年度2Q	決算対前年度差異
決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)
11,100円	11,120円	△20円	10,670円	430円

(3)金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
4,985百万円	8,893百万円	56%	50%	4,162百万円	824百万円	120%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
211百万円	415百万円	51%	49%	118百万円	92百万円	178%

預託金輸出返還支出計

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
5,196百万円	9,308百万円	56%	50%	4,280百万円	916百万円	121%

【予算との比較】

○輸出返還台数の上半期の想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に50%としていたが、ロシア向け中古車輸出の回復等の影響により実績は56%となり予算想定を上回った。  
○輸出返還平均単価は概ね予算想定のおりとなった。  
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は上半期の想定進捗率50%を上回る56%となった。

【前年度同期実績との比較】

○輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。  
○輸出返還平均単価は前年度同期を上回った。  
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	22万台	23万台	—	—	45万台
平成21年度	22万台	17万台	19万台	20万台	78万台

【予算との比較】

○輸出返還台数が予算想定を上回ったことにより、利息を付す輸出返還台数は予算想定を上回った。  
○利息の平均単価は予算想定を下回った。  
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は上半期の想定進捗率49%を上回る51%となった。

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成22年度2Q		
	決算(a)	年度予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	5万台	14万台	37%
平成17年度	23万台	39万台	59%
平成18年度	13万台	21万台	60%
平成19年度	2.8万台	3.6万台	79%
平成20年度	0.6万台	1.0万台	57%
平成21年度	0.6万台	1.0万台	63%
平成22年度	0.1万台	0.4万台	24%
合計	45万台	80万台	56%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成22年度2Q		
	決算(a)	年度予算(b)	(a)/(b)
利息単価	470円	521円	90%

【前年度同期実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成21年度よりも高く、また、利息を付す輸出返還台数が前年度同期実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)(*)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
252百万円	252百万円	100%	100%	184百万円	68百万円	137%

当初予算(d)	予算進捗率(a)/(b)
264百万円	95%

(\*)会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)(*)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
12百万円	12百万円	100%	100%	6百万円	6百万円	191%

当初予算(d)
-

(\*)会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

他会計への繰入金支出計

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
264百万円	264百万円	100%	100%	190百万円	74百万円	139%

《出えん等実績》

出えん等先	出えん等額(※)	
	平成22年度2Q	平成21年度2Q
資金管理人	54百万円	-
指定再資源化機関	150百万円	160百万円
情報管理センター	60百万円	30百万円
合計	264百万円	190百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

(なお、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算264百万円のうち、12百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
25,674百万円	48,312百万円	53%	53%	21,789百万円	3,885百万円	118%

【予算との比較】  
予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】  
事業活動支出が前年度同期実績を上回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は、前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成22年度2Q				平成21年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
37,530百万円	67,825百万円	55%	54%	30,896百万円	6,634百万円	121%

【予算との比較】  
概ね予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】  
主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が前年度同期実績を上回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を上回った。